

参加費無料

どなたでも
参加できます

1. 開会挨拶 17:00~17:05

中川 秀彦 大学院薬学研究科長・学部長

2. 講演 17:05~18:00(質疑応答10分含む)

『名古屋市立大学薬学部創立140年の歩み』

河村 典久氏

名古屋市立大学薬学部同窓会薬友会 会長



ご略歴

1970年に名古屋市立大学大学院薬学研究科博士課程修了後、2003年まで愛知県衛生研究所に勤務。2006年、金城学院大学薬学部教授に就任し、2012年の退官まで教育研究に従事。2013年名古屋市立大学薬学部同窓会会長に就任。中京大学先端共同研究機構人工知能高等研究所特任研究員、金城学院大学研究員、日本薬史学会常任理事。

3. 講演 18:00~18:55(質疑応答10分含む)

『江戸期の疫病と医療』

～内藤記念くすり博物館資料を中心に～

森田 宏氏

内藤記念くすり博物館 館長



ご略歴

1975年に武蔵大学人文学部卒業後、エーザイ(株)に入社。本経営企画部、知創部などを経て、北陸先端大学院大学知識科学課修士課程に入学、2000年に修了。以降、知創部長、総務部長、総務環境安全部長・執行役員理事等を務め、2013年内藤記念くすり博物館館長に就任。日本薬史学会理事、日本植物園協会シンポジウム委員会委員長、各務原市観光協会会長、航空宇宙博物館指定管理者評価委員。

4. 閉会挨拶

山田 美香

大学史資料館長・大学院人間文化研究科 教授

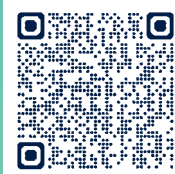
科学や医学の進歩、バイオテクノロジーの発達などにより、創薬領域は目覚ましい発展を続けており生命科学の最先端にありますが、人類と薬の歴史は長く、動植物由来の薬が主に用いられていた時代からの積み重ねにより現在に至ります。本シンポジウムでは、本学薬学部同窓会長と内藤記念くすり博物館長をお招きして、今後の薬学研究への期待についてなどをお話しいたします。

開催日時

2025年2月6日 日 木
17:00~19:00

会場 Teamsによるオンライン配信

申込方法 右記申込フォームまたは下記URLよりお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScSid9T2rhi-NIVmu3bHmLde2Tscj6UjrYenIkEcnjwZjv9RA/viewform?usp=sf_link

申込締切:2025年1月27日(月)